

笠幡病院ってどんな病院？！

救急車を受け入れる病院やリハビリ専門の病院は、入院期間が法律で決まっております。それ以上入院できない仕組みになっています。そのため、いくら希望しても長期的に入院を継続することはできません。

笠幡病院は、136床の医療療養型の病院です。主に救急病院で治療を行った後、引き続き継続して医療が必要な患者様(例えば食事がとれなくて点滴を外せない方等)を、受け入れております。

救急病院のように詳しい検査や手術の実施など高度な医療を提供したり、リハビリ専門病院のように自宅に復帰するような長時間のリハビリを行うことができない代わりに、長期的にお看取りまで入院を継続することが可能です。

入院をご希望する場合は、「医療相談室」のソーシャルワーカーにお問い合わせください。



リハビリテーション科の紹介

リハビリテーション科は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士それぞれの専門スタッフがおり、患者様のお体に合わせたリハビリを実施させて頂いています。笠幡病院では長期臥床により身体機能が低下している患者様に対して、可能な限り良い状態を維持していけるようリハビリを行っています。



患者様個々の能力を引き出す個別リハビリはもちろんですが、患者様の世代に合わせた歌や、時期に合わせたイベントを開催するなど集団レクリエーションも実施しています。

身体を動かす以外にも皆様の心に寄り添ったリハビリが提供できるよう日々心がけています。



簡単！手作りスポーツドリンク

気温が上がり、熱中症の注意が必要な季節になってきました。汗をかいたときに電解質や糖分も補うことで、体液の濃度を薄めずに水分補給をできるのがスポーツドリンクです。市販のものは美味しいですが、ゴクゴク飲むには糖分が気になる場所。そこで簡単な手作りスポーツドリンクをご紹介します。材料は、水・レモン汁・塩・はちみつ(または砂糖)。これらを、よく洗って乾かしたペットボトルや水筒に入れてシャカシャカ混

ぜ、冷やしたら完成です。(手作りなので1日で飲み切りましょう！)

おうち時間が増えましたが、室内でも熱中症のリスクがあります。また、エアコンをつけるようになると乾燥もしやすくなります。しっかり水分補給をして熱中症を予防しましょう。



食べる力を維持していきましょう！

病気や加齢により喉や舌などの機能が弱くなるため、飲み込む能力=嚥下機能は低下していきます。すると食べ物や唾液が上手に飲み込めず、気管に入ってしまう場合があります。これが誤嚥です。誤嚥を繰り返すと、誤嚥性肺炎や窒息のリスクが高まります。

コロナ禍の今、外出自粛で生活が不活発な状態が続くことにより、ご高齢の方の嚥下機能を含む全身の心身機能が低

下することが懸念されています。口から食べられなくなることで低栄養や免疫力低下を招かないよう、お口の健康や嚥下機能を保つことが大切です。

～自宅でできる 嚥下おでこ体操～



- ① 額に手を当てて抵抗を加える
- ② お腹を覗き込むように下を見る
- ③ 喉仏の辺りに力が入っていることを意識する

・持続練習：ゆっくり5つ数えながら持続して行う
・反復練習：1から5まで数えながら、それに合わせて下を向くよう力を入れる

即時効果もあるため食前に行うとよいです

医療法人社団哺育会 笠幡病院

所在地：〒350-1175 埼玉県川越市笠幡 4955 番地 1

TEL.049-232-1231

院長：福留 健之

